



『火垂るの墓』は、映画史に残る作品と断言するその理由とは・・・。
映画作家ならではの視点で、大林宣彦がアニメを熱く語る。

アニメ 問わず語り

第3回：映画作家 大林宣彦

8月20日(木) 深夜0:55～1:00ほか 放送

株式会社ファミリー劇場(本社:東京都港区 代表取締役社長:神田晋一)が運営するCS放送ファミリー劇場では、独自の視点を持つ著名人が、毎回、独断と偏見でアニメを語りつくす異色のオリジナルアニメトーク番組『アニメ 問わず語り』を、毎週木曜深夜0時55分ほかで好評放送中です。

この番組は、ブログなどの普及により、「1億総『語り部』時代」とも言える今。聞かれもしないのに自分から話す“問わず語り”は、“技”であり“芸”であると考え、そんな“問わず語り”ができる方にこそ、人を虜にしてやまないアニメについて、その思いや考えを「ひとりごち」てもらいたい。。そんなコンセプトの番組です。

これまでありがちだったアニメーター・声優の出演は一切なし！著名人が、月替わりで登場し、「好きなアニメ」から、「アニメとは何か」まで、自由なテーマでアニメを語りつくしていきます。過去、立川談志師匠や石破茂農林水産大臣が出演し、話題を呼んできました。

そして、第3回目である8月20日(木)放送の語り部は、映画作家の大林宣彦が登場。商業映画デビュー作『HOUSE ハウス』では、実写とアニメの合成を試みたり、劇場アニメ『少年ケニア』の監督をつとめるなど、意外にも、これまでの作品とアニメとの関係は深い。

そんな大林宣彦が語るのは、映像表現としてのアニメ。「実写では、人の死だけは描けない。」という黒澤明監督の言葉を引用し、『火垂るの墓』は、映画史に名を残すと作品と断言。アニメーションの可能性を語ります。

実写とアニメの決定的な違いとは…。映画作家・大林宣彦ならではの“問わず語り”をお楽しみください。

■番組名

『アニメ 問わず語り#3 大林宣彦』

■放送日時

- ・初回放送 : 8月20日(木)深夜0:55～1:00
- ・リピート放送: 8月27日(木)深夜0:55～1:00ほか
- ※毎週木曜深夜0:55～1:00放送
- ※毎月第3木曜日更新

※本番組の内容は、「月刊アニメージュ」(徳間書店発行)でも、毎回掲載されます。



フィルムを見つめながら、アニメについて熱く語る大林宣彦

©東北新社

【ファミリー劇場】国内ドラマ、特撮、アニメ、バラエティまで、あらゆるジャンルから人気番組を厳選して24時間お届けしているCSチャンネルです。あらゆる世代の「あなたのこれが見たい！」を満足させる、家族みんなが楽しめるエンターテインメントチャンネルです。全国のケーブルテレビ局、スカパー！(361ch)、スカパー！e2 (293ch)、ブロードバンドTVでご覧いただけます。現在700万世帯以上で視聴可能です。

■読者お問い合わせ先■

ファミリー劇場<http://www.fami-geki.com> カスタマーセンターTEL:045-330-2177(受付時間:平日9:30～18:30 ※祝日除く)

■本リリースに関するお問い合わせ先■

(株)東北新社 放送事業本部編成統括部チャンネルPR室 担当: 久竹、柳原
〒107-8460 東京都港区赤坂4-8-10 TEL:03-5414-0321 FAX:03-5414-8847